

文献目録

房総中世史研究文献目録（3）

石 渡 洋 平

・本目録は、遠山成一・滝川恒昭・外山信司編「房総中世史研究文献目録」（『千葉史学』一八号、一九九一年）、佐藤博信編「房総中世史研究文献目録（2）」（『千葉史学』四〇号、二〇〇二年）を引き継ぐものである。その意味で、（3）とした。なお、本目録の作成に際しては、佐藤博信・外山信司・築瀬裕一諸氏の協力を得た。

・二〇〇二年～二〇一〇年（十二月）の間に発表された文献を採録した。

〔単行本〕

葛西城発掘30周年記念論集刊行会編『中近世研究と考古学』岩田書院、二〇〇二年

高木 豊『増補 日蓮―その行動と思想―』太田出版、二〇〇二年

田辺久子『関東公方足利氏四代』吉川弘文館、二〇〇二年

千葉城郭研究会編『図説房総の城郭』国書刊行会、二〇〇二年

中尾 堯『日蓮真蹟遺文と寺院文書』吉川弘文館、二〇〇二年

佐藤弘夫『日蓮―われ日本の柱とならむ―』ミネルヴァ書房、二〇〇三年

大黒喜道『興風叢書（7）安房妙本寺第十四世日我一流相伝大事私』興風談所、二〇〇三年

佐藤博信『中世東国日蓮宗寺院の研究』東京大学出版会、二〇〇三年

浅野晴樹・齋藤慎一編『中世東国の世界2 南関東』高志書院、二〇〇四年

網野善彦『里の国の中世―常陸・北下総の歴史世界―』平凡社ライブラリー、二〇〇四年

一宮教育委員会編『中世の一宮』一宮教育委員会、二〇〇四年

小高春雄『夷隅の城』私家版、二〇〇四年

葛飾区郷土と天文の博物館編『鎌倉幕府と葛西氏』名著出版、二〇〇四年

河上順光編『本土寺物語』本山本土寺、二〇〇四年

- 佐々木馨編『日蓮』吉川弘文館、二〇〇四年
- 千野原靖方『東葛の中世城郭〈千葉県北西部の城・館・砦跡〉』
 崙書房、二〇〇四年
- 寺尾英智・北村行遠編『日本の名僧14反骨の導師日親・日奥』吉
 川弘文館、二〇〇四年
- 伊藤一男『房総地域史点描』崙書房、二〇〇五年
- 笹生 衛『神仏と村景観の考古学―地域環境の変化と信仰の視点
 から―』弘文堂、二〇〇五年
- 鈴木哲雄『中世関東の内海世界』岩田書院、二〇〇五年
- 湯浅治久『中世東国の地域社会史』岩田書院、二〇〇五年
- 阿部能久『戦国期関東公方の研究』思文閣出版、二〇〇六年
- 岡田清一『鎌倉幕府と東国』続群書類従完成会、二〇〇六年
- 小高春雄『山武の城』私家版、二〇〇六年
- 佐藤博信『中世東国足利・北条氏の研究』岩田書院、二〇〇六年
- 佐藤博信『中世東国政治史論』塙書房、二〇〇六年
- 千野原靖方『関東戦国史〈全〉』崙書房、二〇〇六年
- 千葉 県『千葉県の歴史通史編中世』二〇〇七年
- 寺尾英智『続小湊山史の散策』誕生寺、二〇〇六年
- 佐藤博信『安房妙本寺日我一代記』思文閣出版、二〇〇七年
- 早川正司『房州誕生寺石造三層塔と九州千葉氏』青娥書房、二〇
 〇七年
- 萩原龍夫『中世東国武士団と宗教文化』岩田書院、二〇〇七年
- 千野原靖方『常総内海の中世―地域権力と水運の展開―』崙書房、
 二〇〇七年
- 野口 実『源氏と坂東武士』吉川弘文館、二〇〇七年
- 川名 登『房総里見一族〈増補改訂版〉』新人物往来社、二〇〇
 八年
- 菊井千恵子『家伝史料から見た菊井家と安房里見氏―里見民部少
 輔堯次の末裔―』私家版、二〇〇八年
- 黒田基樹『戦国の房総と北条氏』岩田書院、二〇〇八年
- 小森正明『室町期東国社会と寺社造営』思文閣出版、二〇〇八年
- 坂井 昭『房総里見氏と久留里の時代〈改訂版〉』私家版、二〇
 〇八年
- 阪田正一『題看板碑とその周辺』雄山閣、二〇〇八年
- 高橋 功『考察・上野氏記』私家版、二〇〇八年
- 滝川恒昭『房総中世史に関する史料の発掘と教材化の視点』私家
 版、二〇〇八年
- 八千代市『八千代市の歴史通史編上』二〇〇八年
- 原田信男『中世の村のかたちと暮らし』角川学芸出版、二〇〇八
 年
- 市村高男『戦争の日本史10東国の戦国合戦』吉川弘文館、二〇〇
 九年
- 岡田清一『中世東国の地域社会と歴史資料』名著出版、二〇〇九
 年

鈴木哲雄『香取文書と中世の東国』同成社、二〇〇九年

東国中世考古学研究会編『中世の地下室』高志書院、二〇〇九年
湯浅治久『戦国仏教 中世社会と日蓮宗』中公新書、二〇〇九年
茨城県立歴史館編『中世常陸・両総地域の様相―発見された井

田文書―』茨城県立歴史館、二〇一〇年

葛飾区郷土と天文の博物館編『葛西城と古河公方足利義氏』雄山

閣、二〇一〇年

川名 登『戦国近世変革期の研究―房総の武家文書と検地帳から―』岩田書院、二〇一〇年

佐々木馨『日蓮と一遍―予言と遊行の鎌倉新仏教者―』山川出版社、二〇一〇年

千野原靖方『小弓公方足利義明―関東足利氏の正嫡争いと房総諸士―』崙書房、二〇一〇年

千野原靖方編『戦国房総人名辞典』崙書房、二〇一〇年

高橋典幸『源頼朝―東国を選んだ武家の貴公子―』山川出版社、二〇一〇年

盛本昌広『中世南関東の港湾都市と流通』岩田書院、二〇一〇年
房総石造文化財研究会編『続房総の石仏百選』たけしま出版、二〇一〇年

〇一〇年

〔図録・目録・報告書〕

『秋元城跡Ⅰ―君津市重要遺跡確認調査報告書―』君津市・（財）

君津市文化財センター、二〇〇二年

『鏡ヶ浦をめぐる歴史』館山市立博物館、二〇〇二年

『神山谷遺跡（Ⅰ）（Ⅱ）（財）東総文化財センター、二〇〇二年

『蔵波砦跡』（財）君津郡市文化財センター、二〇〇二年

『下総国分の遺跡Ⅲ―第4・5・6次発掘調査報告』和洋学園、二〇〇二年

二〇〇二年

『主要地方道成田松尾線Ⅴ』（財）千葉県文化財センター、二〇〇二年

『戦国史ノート―秋元氏と秋元城の覚え書き―』坂井昭・千葉県

君津市教育委員会生涯学習課、二〇〇二年

『千葉県佐倉市臼井台大名宿遺跡（第4次）』（財）印旛郡市文化財

センター、二〇〇二年

『千葉県成田市下金山城跡―急傾斜地崩壊危険区域内埋蔵文化財

調査―』（財）印旛郡市文化財センター、二〇〇二年

『千葉県松戸市小金城跡（第6地点）』松戸市遺跡調査会、二〇〇二年

〇二年

『千葉県夷隅郡夷隅町万喜城跡』夷隅町史編さん委員会・（財）総

南文化財センター、二〇〇二年

『千葉市生実城跡―昭和六十三年・平成三〇六年度調査―』千

葉市教育委員会・（財）千葉市文化財調査協会、二〇〇二年

年

『千葉市東南部ニュータウン25―千葉市有古城跡1（縄文時代以

降）―』（財）千葉県文化財センター、二〇〇二年

『千葉市都町山王遺跡―平成13年度調査―』（財）千葉市文化財調査協会、二〇〇二年

『千葉東金道路（二期）埋蔵文化財調査報告書9―東金市前畑遺跡・羽戸遺跡―』（財）千葉県文化財センター、二〇〇二年

『中世の船橋―掘る・読む・たずねる―』船橋市郷土博物館、二〇〇二年

『中世の棟札―神と仏と人々の信仰―』横浜市歴史博物館、二〇〇二年

『寺前遺跡』柏市教育委員会・柏市遺跡調査会、二〇〇二年

『富里日吉宿舎（仮称）新築工事に伴う埋蔵文化財調査報告書―富里町・日吉倉城跡―』総務省関東郵政局・（財）千葉県文化財センター、二〇〇二年

『新台遺跡―ひかり工業団地内埋蔵文化財発掘調査報告書V―』（財）東総文化財センター、二〇〇二年

『馬屋敷―馬屋敷遺跡の調査研究―』松戸市遺跡調査会、二〇〇二年

『市原市台遺跡B地点』市原市教育委員会、二〇〇三年

『君津市内遺跡発掘調査報告書II―秋元城跡―』君津市教育委員会、二〇〇三年

『川のだ江戸川』松戸市立博物館、二〇〇三年

『相馬地方の妙見信仰―千葉氏から相馬氏へ―』野馬追の里原町

市立博物館・千葉市立郷土博物館、二〇〇三年

『平成10年度―平成14年度仏像彫刻悉皆調査報告書―一宮町教育委員会、二〇〇三年

『千葉県富津市・君津市岩富城跡確認調査報告書―岩富寺復興霊園造成事業に伴う埋蔵文化財調査―』岩陸株式会社・（財）君津郡市文化財センター、二〇〇三年

『千葉市猪鼻城跡・皿池東遺跡―平成13年度調査―』千葉市教育委員会・（財）千葉市教育振興財団、二〇〇三年

『千葉市堀之内城跡・免谷津遺跡・志保多遺跡』千葉市教育委員会・（財）千葉市教育振興財団、二〇〇三年

『千葉市都町山王遺跡・居寒台遺跡』（財）千葉市教育振興財団、二〇〇三年

『成田国際物流総合基地埋蔵文化財調査報告書2―成田市駒井野荒迫遺跡・台の田II（2）遺跡』（財）千葉県文化財センター、二〇〇三年

『福岡遺跡』（財）東総文化財センター、二〇〇三年

『実叅3丁目遺跡（6）発掘調査報告書』習志野市教育委員会、二〇〇三年

『実叅2丁目駅前遺跡発掘調査報告書―主要地方道千葉鎌ヶ谷松戸線歩道整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』習志野市教育委員会、二〇〇三年

『湯貫田遺跡・花輪遺跡―ほ場整備事業（県営担い手育成）下小

原地区埋蔵文化財調査業務―(財)総南文化財センター、
二〇〇三年

『千葉県夷隅郡夷隅町万喜城跡―Ⅱ』夷隅町史篇さん委員会・
(財)総南文化財センター、二〇〇四年

『肥前千葉氏と小京都小城―歴史資産を活かしたまちづくり―』
佐賀県小城町・小城町教育委員会、二〇〇三年

『かのへ塚遺跡』(財)香取郡市文化財センター、二〇〇四年
『神門房下遺跡C地点―南部中学校埋蔵文化財調査―』(財)印旛
郡市文化財センター、二〇〇四年

『小松寺諸尊像修理報告書』長南文化財修復室・小松寺、二〇〇
四年

『田向遺跡・田中遺跡』(財)総南文化財センター、二〇〇四年

『千葉県君津市秋元城跡発掘調査報告書』君津市教育委員会、二
〇〇四年

『千葉東南部ニュータウン30―千葉市伯父名台遺跡―』(財)千葉
県文化財センター、二〇〇四年

『千葉県八千代市高津館跡地点・本郷台遺跡発掘調査報告書』八
千代市教育委員会、二〇〇四年

『中世房総やきもの市場』千葉県立房総のむら、二〇〇四年

『天津小湊の神仏像調査報告書』天津小湊町、二〇〇四年

『東関東自動車道(千葉・富津線)埋蔵文化財発掘調査報告書14
―木更津市笹子城跡―』東日本高速道路株式会社・(財)

千葉県教育振興財団、二〇〇四年

『流山市西平井・鱈ヶ崎地区土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財
発掘調査概報Ⅰ 西平井根郷遺跡』流山市教育委員会、
二〇〇四年

『根本内遺跡第2地点発掘調査報告書』松戸市遺跡調査会、二〇
〇四年

『畑合遺跡・小箱台遺跡』(財)総南文化財センター、二〇〇四年
『四街道市権現堂遺跡―四街道市成台中土地区画整理事業地内埋
蔵文化財調査(Ⅱ)―』(財)印旛郡市文化財センター、
二〇〇四年

『秋元城と秋元氏をめぐる町―戦国山城フォーラム―』君津市秋
元城跡保存・活用調査研究会・千葉県君津市教育委員会
生涯学習課、二〇〇五年

『秋元城から考える戦国の城』君津市秋元城跡保存・活用調査研
究会・千葉県君津市教育委員会生涯学習課、二〇〇五年

『市原市加茂遺跡A・B地点』(財)市原市文化財センター、二〇
〇五年

『市原市市東地区遺跡群』(財)市原市文化財センター、二〇〇五年
『井野安坂山遺跡 井野長割遺跡(第9次) 井野城跡 井野宮
ノ台遺跡 井野外山遺跡』(財)印旛郡市文化財センター、
二〇〇五年

『大崎城跡2・3・4地点』(財)香取郡市文化財センター・水資

源機構、二〇〇五年

『千葉県富津市・君津市岩富城跡調査報告書―岩富寺復興霊園造成事業に伴う埋蔵文化財調査―』岩陸株式会社・（財）君津郡市文化財センター、二〇〇五年

『白井市の仏像』白井市教育委員会、二〇〇五年

『長南町長南城跡―一般国道409号（茂原一宮線）埋蔵文化財調査報告書―』千葉県道路公社・（財）千葉県文化財センター、二〇〇五年

『東関東自動車道（木更津・富津線）埋蔵文化財調査報告書4―

君津市三直中郷遺跡（沖田地区・中郷地区）―』（財）千葉県文化財センター、二〇〇五年

『千葉県印旛郡酒々井町本佐倉城跡発掘調査報告書』酒々井町、二〇〇五年

『西坂遺跡Ⅰ地点』（財）香取郡市文化財センター、二〇〇五年

『市原市西野遺跡―国道道路改築委託埋蔵文化財調査報告書Ⅱ―』（財）千葉県教育振興財団、二〇〇六年

『芝崎遺跡群―国道126号山武東総道路建設に伴う埋蔵文化財調査―』（財）東総文化財センター、二〇〇六年

『志摩城跡―多古町内遺跡群発掘調査報告書―』（財）香取郡市文化財センター・多古町教育委員会、二〇〇六年

『戦国の城をさぐる』松戸市立博物館、二〇〇六年

『千葉県佐倉市臼井屋敷跡遺跡Ⅱ 市道Ⅰ―三十二号線（吉見工

区）埋蔵文化財調査―』佐倉市・（財）印旛郡市文化財センター、二〇〇六年

『千葉県佐倉市先崎城跡―CⅤ佐倉先崎局建設に伴う埋蔵文化財調査―』株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ・（財）印旛郡市文化財センター、二〇〇六年

『松崎地区内陸工業用地造成整備事業埋蔵文化財調査報告書4

印西市松崎Ⅲ遺跡』（財）千葉県教育振興財団、二〇〇六年

『千葉市中野台遺跡・荒久遺跡（4）―独立行政法人都市再生機構千葉県寺地区埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅴ―』（財）千葉県教育振興財団、二〇〇六年

『東関東自動車道水戸線酒々井PA埋蔵文化財調査報告書3 酒々井町墨古沢遺跡 中世編』（財）千葉県教育振興財団、二〇〇六年

『東中山台遺跡群（39）』船橋市教育委員会、二〇〇六年

『船橋市源七山遺跡―坪井地区埋蔵文化財調査報告書―』（財）千葉県教育振興財団、二〇〇六年

『傍示戸遺跡』（財）東総文化財センター、二〇〇六年

『流山運動公園周辺地区埋蔵文化財調査報告書1 流山市思井堀

ノ内遺跡（中世編）』（財）千葉県教育振興財団、二〇〇六年
『関東戦乱―戦国を駆け抜けた葛西城―』葛飾区郷土と天文の博物館、二〇〇七年

『千葉県佐倉市史跡本佐倉城東光寺ビヨウ―平成16・17年度本佐

倉城跡保存修理（発掘調査）報告書——佐倉市教育委員会、二〇〇七年

『千葉県佐倉市臼井屋敷跡遺跡（第10次）——臼井屋敷宅地造成地内埋蔵文化財調査——』日東建設株式会社・（財）印旛郡市文化財センター、二〇〇七年

『千葉県松戸市通源寺遺跡・根本内城跡・野馬除土手発掘調査報告書』松戸市教育委員会、二〇〇七年

『千葉県松戸市根本内城跡第3地点発掘調査報告書』松戸市遺跡調査会、二〇〇七年

『房総と熊野』袖ヶ浦市郷土博物館、二〇〇七年

『東中山台遺跡群（36）』船橋市教育委員会、二〇〇七年

『千葉市中央区猪鼻城跡——千葉大学亥鼻地区インキュベーション施設建設に伴う発掘調査報告書——』千葉大学亥鼻地区埋蔵文化財調査委員会、二〇〇七年

『高台向遺跡・猪鼻城跡』（財）千葉市教育振興財団、二〇〇七年

『四街道市小屋ノ内遺跡（2）縄文時代——中・近世編——物井地区埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳ——』（財）千葉県教育振興財団、二〇〇七年

『市原市平蔵城跡——国道297号（平蔵地区）道路改良事業埋蔵文化財調査報告書』千葉県県土整備部・（財）千葉県教育振興財団、二〇〇八年

『館山市稲村城跡調査報告書』館山市教育委員会、二〇〇八年

『首都圏中央連絡自動車道埋蔵文化財調査報告書8——袖ヶ浦市上宮田台遺跡1（弥生時代以降）——』（財）千葉県教育振興財団、二〇〇八年

『千葉県南房総市岡本城跡確認調査報告書』南房総市教育委員会、二〇〇八年

『千葉県成田市東和田城跡——東和田要害線道路改良に伴う埋蔵文化財調査——』成田市・（財）印旛郡市文化財センター、二〇〇八年

『伯耆国倉吉里見忠義関係資料調査報告書』里見調査会、二〇〇八年

『東関東自動車道（木更津・富津線）埋蔵文化財調査報告書11——富津市高田遺跡・佐貫城跡・佐貫横穴群・根本田入口山脇砦跡——』東日本高速道路株式会社・（財）千葉県教育振興財団、二〇〇八年

『海賊——室町・戦国時代の東京湾と横浜——』横浜市歴史博物館、二〇〇九年

『久留里の社寺』君津市立久留里城址資料館、二〇〇九年

『千葉県成田市東和泉城跡——急傾斜地崩壊対策委託（埋蔵文化財報告書作成）——』千葉県印旛地域整備センター成田整備事務所・（財）印旛郡市文化財センター、二〇〇九年

『千葉県松戸市松渡城跡・殿平賀向掘遺跡・中芝遺跡・大橋向山遺跡・紙敷遺跡・登戸遺跡発掘調査報告書』松戸市教育

委員会、二〇〇九年

『地方道路交付金委託（館山大貫千倉線）埋蔵文化財調査報告書

2―館山市長須賀条里制遺跡（5）―』（財）千葉県教育

振興財団、二〇〇九年

『両総農業水利事業第3揚水機場建設工事埋蔵文化財調査報告書

2―山武市八幡神社北（1）・（2）・（3）遺跡―』（財）

千葉県教育振興財団、二〇〇九年

『中世の流山を探索 附流山市内板碑集成』流山市教育委員会・

流山市立博物館、二〇〇九年

『千葉市の戦国時代城館跡―千葉市史編纂40周年―』千葉市立郷

土博物館、二〇〇九年

『鎌倉の日蓮聖人 中世人の信仰世界』神奈川県立歴史博物館、

二〇〇九年

木下聡編『全国官途状・加冠状・一字状目録』日本史料研究会、

二〇一〇年

『館山市稲村城跡調査報告書Ⅱ』館山市教育委員会、二〇一〇年

『千葉県南房総市岡本城跡調査報告書』南房総市教育委員会、二

〇一〇年

『成田新高速鉄道・北千葉道路埋蔵文化財発掘調査報告書3―印

旛村松虫陣屋跡―』成田高速鉄道アクセス株式会社・

（財）千葉県教育振興財団、二〇一〇年

『平成19年度～21年度科学研究費補助金基盤研究（C）研究成果

報告書金沢北条氏領下総国下河辺庄の総合的研究』永井
晋、二〇一〇年

『松戸市相模台城跡―千葉地家裁松戸支部庁舎敷地埋蔵文化財発
掘調査業務報告書―』（財）千葉県教育振興財団・最高裁

判所、二〇一〇年

『館山市萱野遺跡・宇戸台遺跡―地方道路交付金委託富津館山線
埋蔵文化財調査報告書―』（財）千葉県教育振興財団、二

〇一〇年

『千葉県印旛郡酒々井町本佐倉城跡発掘調査報告書3』酒々井町、

二〇一〇年

『天神前遺跡発掘調査報告書』神崎町、二〇一〇年

〔基礎史料〕

『夷隅町史資料集』二〇〇二年

『野田市史資料編中世2』二〇〇二年

『千葉県立関宿城博物館史料集1築田家文書』千葉県立関宿城博

物館、二〇〇二年

『勝浦市史資料編中世』二〇〇三年

『古河歴史博物館資料調査報告書野田家文書』古河歴史博物館、

二〇〇三年

『千葉県の歴史資料編中世4（県外文書1）』二〇〇三年

『芝山町史資料集2中世編補遺資料集別編山室譜伝記補遺』二〇

○四年

「野田市史研究資料編中世2補遺」『野田市史研究』一五号、二

○○四年

『千葉県の歴史資料編中世5（県外文書2・記録典籍）』二〇〇五年

『千葉県市原市能満釈蔵院所蔵古文書調査報告書』千葉歴史学会

中世史部会・佐藤ゼミ、二〇〇五年

中世墓資料集成研究会編『中世墓資料集成—関東編（1）—』、

二〇〇五年

佐藤博信編『戦国遺文古河公方編』東京堂出版、二〇〇六年

佐藤和彦・伊東和彦・山田邦明・角田朋彦編『南北朝遺文関東編

第一巻』東京堂出版、二〇〇七年

中世墓資料集成研究会編『中世墓資料集成—補遺編（1）—』、

二〇〇七年

房総中近世考古学研究会編『全国地下式坑集成』二〇〇七年

佐藤和彦・伊東和彦・山田邦明・角田朋彦・清水亮編『南北朝遺

文関東編第二巻』東京堂出版、二〇〇八年

佐藤博信・滝川恒昭編「房総里見氏文書集」『千葉大学人文研究』

三七号、二〇〇八年

佐藤和彦・伊東和彦・山田邦明・角田朋彦・清水亮編『南北朝遺

文関東編第三巻』東京堂出版、二〇〇九年

川名 登編『里見家分限帳集成増補版 附安房国四郡御検地高目

録帳 安房国寺社領帳』岩田書院、二〇一〇年

黒田基樹・佐藤博信・滝川恒昭・盛本昌広編『戦国遺文房総編第

一卷』東京堂出版、二〇一〇年

佐藤和彦・伊東和彦・山田邦明・角田朋彦・清水亮編『南北朝遺

文関東編第四巻』東京堂出版、二〇一〇年

佐藤博信編『玉縄北条氏関係史料集』佐藤研究室、二〇一〇年

〔論集〕

千葉城郭研究会編『城郭と中世の東国』高志書院、二〇〇五年

愛沢伸雄「稲村城跡の保存運動」

市村高男「当主の居城と前当主（または継嗣）の居城—下野小

山氏と下総結城氏を事例として—」

井上哲朗「南関東における城館跡出土陶磁器—その傾向と歴史

的背景—」

小高春雄「房総における鉄炮の導入とその与えた影響につい

て」

佐藤博信「下総臼井・小弓城主原胤栄に関する覚書—高野山

「西門院文書」を中心に—」

柴田龍司「考古学からみた中世房総の城館と村・町」

滝川恒昭「北条氏の房総侵攻と三船山合戦」

遠山成一「戦国後期の陸上交通と城郭—臼井原氏と単郭城跡群

の関連を中心に—」

外山信司「下総矢作城（大崎城）と大蟲和尚―禅僧の著作にみる戦国期の城郭―」

中山文人「下総西部の地域性からみた小金領形成の前提」

日暮冬樹「臼井城下の変遷―地割と交通を中心として―」

藤木久志「内戦の中の村と町と城」

道澤 明「篠本城跡とその周辺―発掘された中世城郭―」

峰岸純夫「享徳の乱における城郭と陣所」

築瀬裕一「徳川将軍の御殿と御茶屋―千葉御茶屋御殿跡の検討から―」

佐藤博信編『中世東国の政治構造 中世東国論上』岩田書院、二

〇〇七年

石橋一展「南北朝・室町期の関東護持僧について―頼印大僧

正行状絵詞」を読む―」

今泉 徹「戦国期佐竹南家の存在形態」

小国浩寿「白旗一揆の分化と武州白旗一揆」

久保賢司「享徳の乱における足利成氏の誤算―貴種の格付け、

正官と権官、主君と家臣の関係についても―」

阪田雄一「雑訴決断所と鎌倉将軍府」

佐藤博信「室町・戦国期の下野小山山氏に関する一考察―特に小

山大膳大夫家を通じて―」

竹井英文「『房相一和』と戦国期東国社会」

外山信司「戦国期千葉氏の元服」

平野明夫「関東領有期徳川氏家臣と豊臣政権」

松本一夫「南北朝・室町前期における幕府・鎌倉府間の使者」

築瀬裕一「真里谷城跡出土遺物の歴史的位置―天文六年、「新

地」の城との関係を中心に―」

和氣俊行「下総国篠塚陣についての基礎的考察―古河公方足利

政氏・高基父子の房総動座―」

佐藤博信編『中世東国の社会構造 中世東国論下』岩田書院、二

〇〇七年

植野英夫「中世末の密教僧の交衆と付法について―上総国新義

真言宗を中心に―」

加増啓二「中世「墨田渡」と隅田宿および石浜について」

黒田基樹「戦国期東国の徳政」

小森正明「常陸国久慈西郡と金沢称名寺について―瓜連の歴史

的位置と替用途をめぐって―」

坂井法暉「日蓮と鎌倉政権ノート」

佐藤博信「東国大名里見氏の歴史的位置―支配理念の側面か

ら―」

滝川恒昭「中・近世移行期を生きた商人の一樣態―城下町館山

における岩崎氏を例に―」

遠山成一「戦国後期房総における城下集落の存在形態―内宿地

名の検討を中心に――

日暮冬樹「大和田重清をめぐる人と地域」

盛本昌広「中世の鎌倉と山林資源」

湯浅治久「香取宮中町の成立と変貌――東国における町場展開の
一様態――」

〔論文〕

【二〇〇二年】

新井浩文「戦国期関宿周辺の河川と交通――船橋市西図書館所蔵

「下総之国図」の史料紹介を通して――」『千葉県立関宿

城博物館研究報告』六号

安藤 登「富津市指定文化財像法寺石造宝篋印塔・石造五重層塔

に付いて其の二」『上総市原』一三三号

池田 悟「房総の六地藏石幢」『立正史学』九一号

池田光雄「下総布川城址について」『中世城郭研究』一六号

池田令道「録内御書の編纂と成立について」『興風』一四号

今泉 徹「戦国時代の書簡作法書――書札礼書の世界――」『千葉県

史料研究財団だより』一三三号

岩井 茂「高柳御所足利義明について」『埼玉史談』二六九号

内山俊身「常総の二つの渡辺氏――戦国期・近世初頭の流通・交通

関与の氏族――」『六浦文化研究』一一号

大野鴻風「源姓逸見氏と外戚（その五）――上総逸見山城入道祥仙

と武蔵逸見若狭守義綱――」『埼玉史談』二七一号

岡田美也子「物語伝承圏としての佐倉――「雲玉和歌集」を読む――

城西国際大学公開講座『文学史と房総』Ⅰ

川戸 彰「白井市名内東光院地藏菩薩立像の胎内銘をめぐる」

『鎌ヶ谷市史研究』一五号

菊田龍太郎「中世における神社修造――鎌倉期・香取社を事例とし

て――」『國學院雑誌』一〇三卷二一号

草刈幸子「天文の内証」と房総里見氏」『駒澤大学大学院史学論

集』三三二号

久保賢司「足利義氏の子孫について――新出の贈答文書から――」『戦

国史研究』四四号

栗原 修「関東管領山内上杉氏の復活と築田氏」『野田市史研究』

一三三号

小泉みち子「市川市所在の庚申塔について」『市立市川歴史博物

館館報』平成一二年度

小島道裕「佐倉藩士の家に伝わった中世文書（補遺）」『佐倉市史

研究』一五号

小森正明「香取社の造営についての覚書」『日本史学集録』二五

号

「中世末東国における有徳人の誕生とその活動につい

て」『日本社会史研究』五四号

斎木 勝「県内出土の木製塔婆」『研究連絡誌』六二二号

坂井法暉「日興写本「一代五時鶏図」をめぐって」『興風』一四号

阪田正一「下総における題目板碑の造立過程」『考古学論究』八号

「日蓮宗中山門流の板曼荼羅と題目板碑」『立正史学』九一号

佐藤博信「安房妙本寺関係年表稿 日郷・日珍」『千葉大学人文研究』三一号

「古河公方足利義氏論ノート」特に『葛西様』をめぐって——『日本歴史』六四六号、後に『中世東国政治史論』に再録

「中近世移行期における安房妙本寺の一動向——安堵主体の変遷を中心に——」『記録史料と日本近世社会Ⅱ』千葉大学大学院社会文化科学研究科、後に『中世東国日蓮宗寺院の研究』に再録

柴田龍司「中世の城と村（1）——千葉県佐原市所在の下小野城跡を事例に——」『中世城郭研究』一六号

菅原関道「保田妙本寺所蔵の「日蓮遺文等抄録」について」『興風』一四号

杉山一弥「室町期上総武田氏の興起の基底——武田信長の動向を中心として——」『武田氏研究』二五号

鈴木哲雄「地本と下地について」『鎌倉遺文研究Ⅲ鎌倉期社会と

史料論』東京堂出版

「莊園公領制と東国の村郷」『歴史評論』六二二号

鈴木庸一「里見義弘と青岳尼」『館山と文化財』三五号

関 周一「海事史料としての日蓮書状」『鎌倉遺文研究Ⅲ鎌倉期社会と史料論』東京堂出版

滝川恒昭「里見氏にあてた家康の起請文」『季刊ぐんしょ』五八号

「戦国期江戸湾における小林氏の動向」『六浦文化研究』一一号

田嶋昌治「鵜殿氏について、そして鵜殿を歩いて」『松戸史談』四二号

田島光男「足利尊氏・成氏・義明・上杉定正・朝良文書と上杉朝良のもうひとつの花押」『神奈川県立公文書館紀要』四号

角田明彦「東金市に残る佐々木道誓の伝承」『房総及房総人』八〇二号

外山信司「遠坪遺跡と鹿島川上・中流域の中近世移行期——日蓮宗長興寺をめぐって——」『千葉いまむかし』一五号

中山文人「佐津間の中世」『鎌ヶ谷市史研究』一五号

中脇 聖「下総高城氏と上総酒井氏に関する基礎的考察——房総地域領主層への一視点——」『流山市史研究』一七号

野口 実「坂東平氏と「平家物語」——上総広常・「源平闘諍録」・

畠山重忠のことなど——『軍記と語り物』三八号

松本 勝 「安房勝山（加知山）城跡について——内房正木氏系海城の構造と概要——」『千葉史学』四〇号

「千葉県富津市湊川下流域の中世磨崖仏・やぐらについて——竹岡薬王寺・不入斗円正寺を中心に——」『六浦文化研究』一一号

丸井敬司 「九州千葉氏系図と両総平氏の武士団形成について」『千葉市立郷土博物館研究紀要』八号

盛本昌広 「関東公事賦課と小侍所」『千葉県史研究』一〇号

「公事賦課と切符——鎌倉・南北朝期における惣地頭の公事配分——」『千葉史学』四〇号

築瀬裕一 「千葉堀内——千葉氏の本拠として——」『中世城郭研究』一六号

山田邦明 「香取大祢宜大中臣長房の置文」『佐原の歴史』二二号

湯山 学 「鎌倉府奉公衆の設楽氏」『佐倉市史研究』一五号

【二〇〇三年】

石出猛史 「『海夫注文下總國』の地名に関する考察」『房総の郷土史』三二号

遠藤 忠 「旧利根川流域の水運——三郷地方の河関の特色——」『葦の道（三郷市史研究）』一五号

岡田晃司 「里見家のふたつの内乱——天文の内乱と天正の内乱——」

『千葉文華』三八号

岡田清一 「相馬家文書の近世写本について」『千葉県史研究』一号別冊中世の房総、そして関東

「将門伝承の伝播——下総相馬氏から奥州相馬氏へ——」『沼南町史研究』七号

岡田美也子 「房総上陸後の頼朝——史実・伝承・物語——」城西国際大学公開講座『文学史と房総』Ⅱ

小高春雄 「畔蒜庄亀山郷における戦国末期の動向——城郭のあり方と棟札の分析を通して——」『千葉城郭研究』七号

「市原の古城址」『市原地方史研究』二〇号

菊池紳一 「房総三か国の国司について——鎌倉時代を中心に——」『千葉県史研究』一一号

木村 修 「東氏の歌学をめぐって」『千葉史学』四二二号

紺野敏文 「運慶様式の受容と房総の造像——市原の造像との関わり——」『市原地方史研究』二〇号

斎木 勝 「千葉県における板碑研究の現状と課題」『研究連絡誌』六五号

坂井法暉 「日蓮の対外認識を伝える新出資料——安房妙本寺「日本図」とその周辺」『金澤文庫研究』三二二二号

阪田雄一 「建武新政下鎌倉府再考——足利直義党成立に関連して——」『千葉史学』四二二二号

櫻井敦史 「県内における中世村落の発展について——百姓居宅の区

画から——『市原市文化財センター研究紀要』Ⅳ

笹生 衛「古代集落の変化と中世的景観の形成——西上総、小糸川流域の事例を中心に——」『千葉県史研究』一一号別冊中世の房総、そして関東

「地下式坑の掘られた風景——景観復元から見た中世地下式坑の機能と歴史的意義——」『戦国時代の考古学』高志書院、後に『神仏と村景観の考古学——地域環境の変化と信仰の視点から——』に再録

佐藤輝夫「里見梅王丸考」『館山と文化財』三六号

佐藤博信「足利家国論ノート」『千葉県史研究』一一号別冊中世の房総、そして関東、後に『中世東国政治史論』に再録
「足利藤政論ノート」『鎌倉』九六号、後に『中世東国政治史論』に再録

「足利龍王丸論ノート——小弓公方研究の断章——」『季刊ぐんしよ』六二号、後に『中世東国政治史論』に再録

「野田家文書」雑感」『古文書研究』五七号

「『築田中務少輔』論ノート」『戦国史研究』四五号、後に『中世東国政治史論』に再録

鈴木哲雄「香取社領における地本と下地について」『千葉県史研究』一一号別冊中世の房総、そして関東

「香取社領の検注帳について」『国立歴史民俗博物館研究報告』一〇四集、後に『香取文書と中世の東国』に再

録

滝川恒昭「里見義頼と青岳尼」『鎌倉』九七号

「[平手]と[平済]」『千葉県史研究』一一号別冊中世の房総、そして関東

谷口 榮「江戸湾をめぐる世界」『戦国時代の考古学』高志書院
津田芳男「夷隅郡大原町畑合遺跡206号井戸跡出土の遺物について」『房総中近世考古』一号

「滝ノ谷遺跡（本納城跡）の出土遺物について」『房総中近世考古』一号

角田吉信「[原文書]から見た戦国末期の森山城——森山城は、東氏の居城ではない？——」『香取民衆史』九号

寺尾英智「中世日蓮宗寺院における造像活動について——茂原藻原寺の場合——」『千葉県史研究』一一号別冊中世の房総、そして関東

遠山成一「河川に面した城郭について——陸上交通との関わりを中心に——」『利根川文化研究』二三号

「[金沢文庫文書]と下総中村氏」『千葉県の歴史資料編中世4（県外文書1）千葉県のおり』

「詳細分布調査以後に新たに確認された城館跡について」『千葉城郭研究』七号

外山信司「鎌倉時代の東氏——東国武士の歌の家——」『千葉県史研究』一一号別冊中世の房総、そして関東

長塚 孝「鎌倉府奉公衆の一過程―築田氏の動向を素材として―」『葦の道（三郷市史研究）』一五号

濱名徳順「市内に所在する中世の仏像について―平成十四年実施

の市内仏像調査の結果から―」『成田史談』四八号

福島金治「下総土橋東禅寺と鎌倉極楽寺・称名寺」『千葉県史研究』一一号別冊中世の房総、そして関東

福田豊彦「源平闘諍録」の成立過程―千田合戦と伊藤三女の二説話を中心に―」『千葉県史研究』一一号別冊中世の房

総、そして関東

「補論千葉介胤綱・時胤および千田泰胤の系譜上の位置」『千葉県史研究』一一号別冊中世の房総、そして関東

松本 勝「内房地区の城郭を考える（Ⅰ）」『千葉城郭研究』七号

「富山町高崎要害城跡についてⅡ」『千葉城郭研究』七号

丸井敬司「千葉妙見の縁起とその成立に関する考察」『千葉市立郷土博物館研究紀要』九号

丸島和洋「里見義頼拳兵の背景」『房総及房総人』八一四号

道上 文・栗原薫子「船橋市峰台遺跡の研究―中世前半期における船橋低地の様相―」『房総中近世考古』一号

峰岸純夫「上総曹司」と源義朝」『千葉県の歴史資料編中世4（県外文書1）千葉県のおりり』

盛本昌広「上総国称名寺領と年貢・公事徴収」『千葉県史研究』

一一号別冊中世の房総、そして関東

築瀬裕一「柏市中馬場遺跡の中近世遺物について」『房総中近世考古』一号

「千葉氏本拠の復元」『戦国時代の考古学』高志書院

「東国の戦国城館成立期におけるひとつの実像―千葉市生実城跡の調査成果から―」『千葉城郭研究』七号

「房総の中世城郭について―千葉市内の考古学的成果をもとに―」『千葉文華』三八号

「生実城跡の人骨を伴う地下式坑について」『財団法人千葉市教育振興財団埋蔵文化財文化財センター年報16

―平成14年度―』（財）千葉市教育振興財団、二〇〇三年矢野英雄「佐原市香取神宮「大別当」惣持院について（その一）」

『常総の歴史』三〇号

山内哲生・岸真一・鳥居もえぎ・高島緑雄「中世村落の枝村と水田開発―下総国香取郡多田村―」『駿台史学』一一八号

山田邦明「犬懸上杉氏の政治的位置」『千葉県史研究』一一号別冊中世の房総、そして関東

「秀吉の関東征伐と香取神宮」『佐原の歴史』三号湯浅治久「鎌倉中期における千葉氏の経済構造に関する一考察―

「日蓮遺文紙背文書」の借上を中心に―」『千葉県史研究』一一号別冊中世の房総、そして関東

「中世郷村の変貌―下総国八幡庄大野郷の15・6世紀

——『市立市川歴史博物館報』平成一三年度、後に『中世東国の地域社会史』に再録

「室町期東国の荘園公領制と「郷村」社会——上総国を事例として——」『国立歴史民俗博物館研究報告』一〇四集、後に『中世東国の地域社会史』に再録

湯山 学「鎌倉府奉行小考——町野浄善と清原繁隆——」『千葉史学』四一号

和氣俊行「東国における「公方」管領体制」の止揚時期再考——房総里見氏の政治思想からみる——」『日本中世の政治と社会』吉川弘文館

【二〇〇四年】

青山宏夫「干拓以前の潟湖とその機能——樺海と下総の水上交通試験——」『国立歴史民俗博物館研究報告』一一八集

浅野晴樹「南関東の中世墓と埋葬」『中世東国の世界2南関東』高志書院

新井浩文「戦国期関宿周辺の河川普請——権現堂堤の修築を中心に——」『千葉県立関宿城博物館研究報告』八号

池上 悟「佐原市域板碑所在調査報告——下総型板碑の定型——」『佐原の歴史』四号

池田令道「『五人所破抄』諸本の書誌的考察」『興風』一六号
井上哲朗「房総の「やぐら」——線刻・浮彫五輪塔の再分析——」『中

世東国の世界2南関東』高志書院

井上宗雄「東常縁と素暹と——歌人として——」『千葉史学』四四号

植野英夫「西上総の真言宗寺院について」『房総及房総人』八二三号

鬼澤昭夫「大崎城跡2・3・4地点」『平成十五年度千葉県遺跡調査研究発表会発表要旨』千葉県文化財法人連絡協議会

黒田基樹「天文後期における北条氏の房総侵攻」『市史研究横須賀』三号、後に『戦国の房総と北条氏』に再録

斎木 勝「千葉県内出土板碑の諸相」『研究連絡誌』六六号
佐藤博信「足利藤氏論ノート——房総移座の問題を含めて——」『日本歴史』六六九号、後に『中世東国政治史論』に再録

「小弓公方足利氏と房総正木氏の関係について——高野山「西門院文書」を通じて——」『六浦文化研究』一二号、後に『中世東国政治史論』に再録

「高野山「西門院文書」の再検討——釈藏院快弁書状をめぐって——」『千葉史学』四五号、後に『中世東国政治史論』に再録

「安房妙本寺日我と里見義堯——「唯我尊靈百日記」を読む——」『千葉県史研究』一二号、後に『中世東国政治史論』に再録

澤田善明「伊勢神宮と中世の房総」『千葉県史料研究財団だより』

一五号

菅原関道「中山法華経寺聖教に見える異筆文書の考察——瀧泉寺

申状案」異筆三紙を中心に——『興風』一六号

鈴木哲雄「香取社海夫注文の史料的人格について」『中世一宮制の歴史的展開(上)』岩田書院、後に『香取文書と中世の東国』に再録

宗臺富貴子「南関東の陶磁器流通」『中世東国の世界2南関東』高志書院

外岡慎一郎「鎌倉幕府と東国守護——東国使節の評価をめぐって——」『敦賀短期大学紀要敦賀論叢』一九号

滝川恒昭「海の境界を生きる商人・職人」『定本北条氏康』高志書院

「中世東国海上交通の限界・制約とその対策」『中世東国の世界2南関東』高志書院

遠山成一「中世城館跡」と伝承」『房総及房総人』八二五号

寺尾英智「勝浦妙覚寺の日蓮聖人像」『房総及房総人』八二八号

中山文人「過去帳・僧伝からみた下総国平賀本土寺——中世の本寺と末寺——」『中世東国の世界2南関東』高志書院

張替清司「戦国期惣構の再検討——城下を「囲う」行為について——」『青山考古』二二号

樋口誠太郎「千葉氏の妙見信仰と縁起絵巻」『房総の郷土史』三二号

丸井敬司「鎌倉幕府と妙見信仰——鎌倉幕府で行なわれた尊星王法について——」『鎌倉』九八号

森本房子「源平合戦から鎌倉時代へ——下河辺行平の活躍を中心に——」『かつしか台地』二八号

八巻孝夫「上総大多喜城の変遷について——縄張調査と古絵図の検討から——」『中世城郭研究』一八号

築瀬裕一「房総の中世集落——台地上集落を中心に——」『中世東国の世界2南関東』高志書院

山田邦明「香取の小字と天正検地」『佐原の歴史』四号

湯浅治久「中世香取社領における土地売買の基本的性格——土地証文類の数量的推移と相互関連の検討から——」『千葉県史研究』一二号

和氣俊行「古河公方袖加判申状からみる関東足利氏権力の変遷」『古文書研究』五八号

【二〇〇五年】

新井浩文「関宿周辺の変遷と地域——戦国時代を中心に——」『江戸川の社会史』同成社

池上 悟「千葉県佐原市浄土寺所在梵鐘について」『佐原の歴史』五号

市村高男「戦国期の地域権力と「国家」・「日本国」『日本史研究』五一九号

- 井上哲朗「中世房総における陶磁器類の流通・消費動向」『千葉県文化財センター研究紀要—三〇周年記念論集—』二四号
- 岩沢和夫「矢作城始末記—古城は語る落城の真相—」『佐原の歴史』五号
- 大黒喜道「檀那門跡相承并恵心流相承次第」の什覚記録について『興風』一七号
- 大森隆志「中世地下式坑の形態変遷について」『海と考古学』六一書房、二〇〇五年
- 小高春雄「房総中世城館の発展過程」『千葉県文化財センター研究紀要—三〇周年記念論集—』二四号
- 「東総の石造物—いわゆる里法華との関係にもふれて—」『房総の石仏』一五号
- 糟谷幸裕「在番衆と境目地域—古河・関宿地域を事例として—」『野田市史研究』一六号
- 工藤敬一「鎌倉時代の下総氏（門司氏）についての憶説」『千葉県歴史資料編中世5（県外文書2・記録典籍）千葉県のしおり』
- 黒田基樹「戦国期千葉氏権力と政治構造」『千葉県史研究』一三三号、後に『戦国期領域権力と地域社会』に再録
- 小森正明「中世後期東国における借用状の一考察—「文の身」文言の検討を中心として—」『社会文化史学』四七号
- 近藤祐介「戦国期関東における幸手不動院の台頭と鎌倉月輪院—後北条氏と古河公方の関係から—」『地方史研究』三一五号
- 逆井 清「堤台城主岡部長盛・康綱は別人にあらず」『かつしか台地』二九号
- 櫻井敦史「市原八幡宮と中世八幡の都市形成—文献・考古・石造物史料から—」『市原市文化財センター研究紀要』V
- 佐藤博信「里見忠義の家督相続・元服前後の動向について—高野山「西門院文書」を中心に—」『千葉県史研究』一三三号、後に『中世東国政治史論』に再録
- 「川名登氏と房総里見氏研究」『利根川文化研究』二六号
- 杉 仁「東総猿田神社「永正奉納俳諧」—戦国期に在村文化の萌芽をみる—」『千葉県の歴史資料編近世6千葉県のしおり』
- 澤田善明「妙本寺と今川氏」『房総及房総人』八三八号
- 滝川恒昭「戦国期の船橋・市川」『房総史学』四五号
- 千鳥絵里「下総之国図」に関する基礎的検討『史艸』四六号
- 所理喜夫「利根川東遷論と江戸川」『松戸市立博物館紀要』一二二号
- 外山信司「勅撰歌人となった千葉氏胤—「新千載集」から見た足利政権と千葉氏—」『千葉史学』四六号

中山文人「江戸川と利根川を結ぶ道々」『江戸川の社会史』同成社

野口 実「慈光寺本「承久記」の資料的評価に関する一考察」京都女子大学宗教・文化研究所『研究紀要』一八号

原田信男「下総国猿島郡若林村の草切り伝承と偽文書」『戦国史研究』五〇号

西岡芳文「称名寺住僧・鏡心と房総の求聞持霊場」『千葉県の歴史資料編中世5（県外文書2・記録典籍）千葉県のおしおり』

西野 元「茂原市橘樹神社境内地出土の経塚遺物」『（財）千葉県文化財センター研究紀要』24、二〇〇五年

早川正司「東庄町大友観音堂所在の弥陀三尊来迎図像板碑について」『房総の石仏』一五号

松岡 進「東国における平地城館跡研究の深化のために」『中世城郭研究』一九号

松本麻子「『雲玉和歌抄』から見る関東歌壇」『和歌文学研究』九〇号

丸井敬司「房総地方の妙見信仰と製鉄・鍛冶について」『千葉市立郷土博物館研究紀要』一一号

湯浅治久「『御家人経済』の展開と地域経済圏の成立―千葉氏を事例として―」『中世都市研究11交流・物流・越境』新人物往来社

築瀬裕一「千葉におけるもう一つの御殿跡―千葉御殿と千葉御茶屋御殿―」『千葉いまむかし』一八号

「房総における15・16世紀の土器・陶磁器研究の現状」『中世土器・陶器編年研究会記録3 関東、東海における中世土器（煮炊具）の最近における研究成果』、二〇〇五年

和氣俊行「中世後期における御内書の定義について―関東公方書状様式直状の古文書学的名称をめぐって―」『法政大学大学院紀要』五四号

【二〇〇六年】

新井浩文「戦国期関宿周辺の領と領主―後北条氏による古河公方領再編における一考察―」『千葉県立関宿城博物館研究報告』一〇号

池田令道「『法華問答正義抄』の日蓮遺文をめぐって」『興風』一八号

市村高男「関東における非北条氏系領主層の印章」『戦国期印章・印判状の研究』岩田書院

伊藤寿和「下総国関宿城下町に関する歴史地理学的研究」『日本女子大学紀要文学部』五六号

井上哲朗「西屋敷跡・松子城跡出土中世陶磁器類の組成―館蔵資料の再整理から―」『町と村調査研究』八号

今泉 徹「関宿商人の小田原合戦」『千葉県史料研究財団だより』

一七号

植野英夫「下総国印西荘龍腹寺宝塔棟札について」『房総の郷土史』三四号

海上義治「東常縁物語―千葉氏と東庄―」『房総の郷土史』三四号

大谷吾道「日睿筆「類集記」について」『興風』一八号

小高春雄「東総の戦国城郭―武田・正木・酒井氏を中心に―」『千葉城郭研究』八号

加藤久雄「棗塚遺跡出土人骨における歯冠形態と計測値からみたその血縁関係の推定」『市原市文化財センター研究紀要』

VI

「歯冠計測値からみた市原城郭跡出土人骨の血縁関係の推定」『市原市文化財センター研究紀要』VI

加藤久雄・宮口浩徳・松村博文「市原城郭跡出土の中近世人骨」『市原市文化財センター研究紀要』VI

加藤裕美子「下総国下河辺荘における築堤―万福寺百姓等申状を中心に―」『鎌倉遺文研究』一七号

鴨志田智啓「足利高基・政氏抗争の再検討」『戦国史研究』五二号

木下 聡「官途状の形式とその地域的・時期的特徴について」『史学雑誌』一一五編九号、後に『全国官途状・加冠状・一

字状目録』に再録

「武家官途としての左馬頭」『歴史評論』六七四号

小橋健司「姉崎棗塚遺跡出土中世人骨の鑑定と分析について」『市原市文化財センター研究紀要』VI

坂井康人「下総国における「旦那場・勧進場」成立の前提について」『房総史学』四六号

阪田正一「形木の題目曼荼羅と金石文」『立正史学』九九号

佐藤博信「鏡忍寺参詣記」『日本歴史』六九三号
「戦国遺文古河公方編」補説(一)―「茂本文書」の二・三について」『季刊ぐんしょ』七三号

柴 裕之「本多忠勝の上総万喜入城」『房総及房総人』八四九号

滝川恒昭「藻原寺の制札からみた戦国期の茂原」『千葉城郭研究』八号

「房総正木氏文書の概要について」『勝浦市史研究』九号

田嶋昌治「高城氏家臣田嶋刑部少輔時定について」『松戸史談』四六号

田中清美「市原城郭跡出土の人骨について」『市原市文化財センター研究紀要』VI

遠山成一「中世関宿城の城下構造に関する一考察」『千葉史学』四八号

「東上総の城下町構造―酒井氏の領域を中心に―」『千

葉城郭研究』八号

「野田市域の中世城郭・幻の城跡について」『かつしか
台地』三一号

長塚 孝「古河公方家税制の一側面」『戦国史研究』五一号

津田芳男「千葉県内における中世煮炊具について」『房総中近世
考古』二号

「発掘された長生郡内の城郭」『千葉城郭研究』八号

都守基一「永祿の規約をめぐる中世日蓮教団の動向」『興風』一
八号

濱名徳順「九州千葉氏の造像」『千葉県史研究』一四号

早川正司「南房総市千倉町出現の貞治銘五輪塔とその周辺」『房
総の石仏』一六号

松村博文・中村恵美・鈴木隆雄・三谷圭「姉崎棗塚遺跡出土の中
世人骨について」『市原市文化財センター研究紀要』VI

松本麻子「雲玉和歌抄」に見える連歌と連歌説―梵灯庵・兼載
を手がかりとして―『連歌俳諧研究』一一〇号

丸井敬司「千葉妙見寺より発行された二つの御影（妙見像）につ
いて―像容から見る千葉氏の妙見信仰と武士団の再
編―」『千葉市立郷土博物館研究紀要』一二号

道上 文「中世房総出土の東海系土製煮炊具について―遠隔地間
物流の諸相―」『房総中近世考古』二号

道澤 明「光町の板碑」『房総中近世考古』二号

盛本昌広「中近世移行期の香取地域」『千葉県史研究』一四号

築瀬裕一「一宮城跡出土の陶磁器について」『千葉城郭研究』八
号

「地下坑の分類と編年試論―中馬場遺跡他の千葉県の事
例をもとに―」『房総中近世考古』二号

湯浅治久「有徳人井戸庭弥次郎とその時代―室町期香取社領の公
人・津・宿―」『年報三田中世史研究』一三号

「在庁官人次郎介桑原氏から六所神社神主桑原氏へ―下
総国衙在庁の系譜をひく村の領主―」『市立市川歴史博
物館館報』平成一七年度

【二〇〇七年】

阿部浩一「戦国期房総の情報伝達をめぐる―千葉県の歴史通
史編中世千葉県のしおり―」

市村高男「内海論から見た中世の東国」『中世東国の内海世界
霞ヶ浦・筑波山・利根川』高志書院

伊藤寿和「下総国下河辺荘に関する歴史地理学的研究―低湿地帯
の農業と万福寺（満福寺）の比定地について―」『日本
女子大学紀要文学部』五七号

井上哲朗「関東地域の地下式坑について」『地下式坑を考える―
地下式坑の全国集成とその検討―』二〇〇七年

植野英夫「中世末から近世初頭の上総国新義真言宗教団の展開に

について』『袖ヶ浦市史研究』一三三号

「中世の新勝寺と亮恵の付法」『成田山仏教図書館報』復刊七六号

内山俊身「古河公方領国における流通―馬・船・商人―」『中世

東国の内海世界 霞ヶ浦・筑波山・利根川』高志書院

「戦国期栗橋城主野田氏の被官石塚氏について―古河公方領国に生きた「川と道の人々」―」『茨城史林』三二一
号

大石直正「地名「千倉」と中世の海運」『千葉県歴史通史編中

世千葉県のしおり』

小国浩寿「上総本一揆の大將埴谷氏」『千葉県の歴史通史編中世

千葉県のしおり』

小高春雄「多古町東禅寺の石塔群について」『千葉史学』五一号

川戸 彰「野田市の板碑」『野田市史研究』一八号

齋木 勝「千葉県における出土板碑の諸相」『千葉文華』三九号

佐藤博信「足利尊氏・同直義所領目録（「比志島文書」）をめぐって―上総所領の復元―」『日本史研究』五四二号

「安房妙本寺の日向末寺の再興者たち―山本坊過去帳―から―」『千葉史学』五〇号

「鎌倉公方足利成氏とその文書―特に花押形の検討から

―」『鎌倉』一〇三号

「古河公方家臣畠山内匠頭試論」『鎌倉』一〇四号

「古河公方文書にみる闕字・台頭について」『戦国史研究』五四号

「中世東国における版刻花押について―古河公方足利高基・常陸佐竹氏を中心に―」『千葉県史研究』一五号

「岡山・鳥取研修記―興風談所・富木氏発祥の地を訪ねて―」『興風』一九号

「日向参詣記―安房妙本寺の旧末寺を訪ねて―」『千葉大学人文研究』三六号

「常総天台談義所参詣記」『日本歴史』七〇七号

鈴木哲雄「香取録司代家・香取案主家文書の売券について」『日本中世の権力と地域社会』吉川弘文館

「荘園制下の開発と国判―新たな荘園制論によせて―」

『再考中世荘園制』岩田書院

外岡慎一郎「建武政権期の使節遵行について」『敦賀短期大学紀要敦賀論叢』二二一号

滝川恒昭「美濃里見氏小考」『千葉史学』五〇号

田嶋昌治「各地の平本姓を追う」『松戸史談』四七号

田中宏志「関東足利氏と織田政権」『戦国史研究』五四号

谷口 榮「葛西城出土の中世瓦について」『葛飾区郷土と天文の博物館研究紀要』一一号

角田吉信「香取市久保・久保神社「千葉親胤御影」について―作者・江戸時代初期の千葉定胤（千葉家当主）―」『香取

民衆史』一〇号

遠山成一「房総における内宿地名について」『中世城郭研究』二
一号

中尾 堯「日蓮仏教研究の課題と展望」『日蓮仏教研究』一号

西股総生「下総高田山城にみる火点形成技法」『中世城郭研究』
二一号

則竹雄一「戦国大名北条氏の軍隊構成と兵農分離」『日本中世の
権力と地域社会』吉川弘文館

野口 実「千葉氏系図の中の上総氏」『中世武家系図の史料論上
巻』高志書院

平野明夫「永正十四年番匠免の戦い」『葦の道（三郷市史研究）』
一九号

真鍋淳哉「江戸湾をめぐる後北条氏と房総里見氏との関係——新
編横須賀市史』編さんの成果から——」『郷土神奈川』四
五号

築瀬裕一「地下式坑貯蔵施設論」『地下式坑を考える——地下式坑
の全国集成とその検討——』

「内耳の摩滅痕からみた内耳土器から焙烙への変化」『考
古学論叢』六一書房

和氣俊行「応永三一年の都鄙和睦をめぐって——上杉禅秀遺児達の
動向を中心に——」『史潮』新六二号

「文明三年（一四七一）の足利成氏房総動座をめぐって

——動座からみる関東足利氏の権力的性格——」『千葉史学』
五〇号

【二〇〇八年】

新井浩文「戦国期の関宿城と町場形成——近年の関宿城下構造に関
する論考に触れて——」『千葉県立関宿城博物館研究報告』

一二号

「戦国期の利根川水運と城郭——江戸川開削以前の中世利
根川再考——」『利根川文化研究』三一号

池田令道「日蓮遺文をめぐる二三の覚書」『日蓮仏教研究』二二
号

宇留野主税「中世常陸・下総における城館と拠点形成」『地方史
研究』三三四号

小高春雄「古河公方の墓所・石塔について」『泉石』八号

「笹子・中尾両城と上総武田氏」『千葉城郭研究』九号
加藤有花「本佐倉城出土の鑄棹について」『出土銭貨』二七号

川名 禎「分散城下町の成立とその統合原理——下総国関宿城下町
の復元を通じて——」『歴史地理学』二四二号

木内達彦「史跡本佐倉城跡と発掘調査」『中世城郭研究』二二二
号
木村 修「大須賀常継と谷津経塚」『成田市史研究』三三二号

倉田恵津子「関東地方主要河川流路と武蔵型板碑の流通2」『松
戸市立博物館紀要』一五号

黒田基樹「年期売買に関するノート」『千葉県史研究』一六号、

後に『戦国期の債務と徳政』校倉書房、二〇〇九年に再録

小林弘美・植野英夫「銚子市常灯寺薬師堂の沿革と保護について」

『千葉文華』四〇号

坂井法暉「南北朝期における中山門流の一齣——本行院日堯とその

周辺——」『興風』二〇号

佐藤博信「安房妙本寺と中山法華経寺——戦国末期の一通の文書か

ら——」『千葉史学』五三号

「上総藻原郷・二宮庄・藻原寺の中世的展開——寺院・都

市・城郭——」『千葉城郭研究』九号

「古河公方家臣本間氏に関する考察——特に本間政能を中

心として——」『茨城県史研究』九二号

「古河公方家臣築田氏に関する一考察」『千葉県史研究』

一六号

椎名幸一「海匝地域における低地館跡」『千葉城郭研究』九号

塩澤寛樹「印西市・西福寺の賢光作不動明王立像及び毘沙門天立

像について」『印西の歴史』四号

鈴木江津子「古河公方「足利高基感状」を発見」『神奈川大学評

論』六一号

柴田龍司「海城の様相と変遷」『中世城郭研究』二二二号

滝川恒昭「中・近世移行期における里見氏と商人」『千葉県史研

究』一六号

「房総からみた戦国大名北条氏——里見氏・江戸湾からの視点を中心に——」『中世東国の世界3戦国大名北条氏』

高志書院

武田歌織「安房吉浜妙本寺絵図」にみる樹木」『千葉県史研究』

一六号

田嶋昌治「平本姓を追う中で高木姓に出会った」『松戸史談』四

八号

都守基一「中山日祐著「立正安国論私見聞」の一考察」『日蓮仏

教研究』二二二号

當眞嗣史「『小町殿』の謎——君津市外箕輪遺跡を中心とする荘園

領主をめぐる一考察——」『多知波奈の考古学』

外山信司「上杉謙信の臼井城攻めについて」『千葉城郭研究』九

号

「『三国伝記』の「飯岡律僧寺」のこと」『千葉史学』五

二二号

沼田晃佑「房総半島と初期日蓮教団」『甲斐』一一七号

長谷川弘道「中世野田市域の寺院について」『野田市史研究』一

九号

早川正司「房州誕生寺石造三層塔について」『千葉文華』四〇号

平久保久雄「小金高城氏と高根城考（一）」『松戸史談』四八号

丸井敬司「中・近世の千葉町の成立とその景観について——千葉の

町づくりと千葉館（城）——」『千葉市立郷土博物館研究

紀要 一四号

盛本昌広「鎌倉期房総における衣料生産」『千葉県史研究』一六号

山口 博「戦国大名北条氏と古河公方」『中世東国の世界3 戦国

大名北条氏』高志書院

山下孝司「上総武田氏の城郭」『甲斐』一二七号

築瀬裕一「中世後期の常滑焼片口鉢の編年について―東国の消費地遺跡における検討から―」『芹沢先生追悼 考古・民

族・歴史学論叢』六一書房、二〇〇八年

和氣俊行「室町・戦国期東国社会における関東公方観―関東公方の社会的地位に関する試論―」『栃木県立文書館研究紀要』一二号

【二〇〇九年】

阿部 明「古城」落城と「和歌里」（塙太郎右衛門）とのかかわり」『続銚子の歴史と伝説』秀英社

池田光雄「上総森城址について」『中世城郭研究』二三号

井上哲朗「鴨川市西郷氏館跡の陶磁器類―中世屋敷から近世陣屋への変化―」『房総中近世考古』三号

「酒々井町・佐倉市本佐倉城跡の陶磁器類―戦国期千葉氏本城の組成―」『房総中近世考古』三号

今泉 徹「関宿合戦の諸段階―佐竹・宇都宮氏の動向を中心

に―」『野田市史研究』二〇号

植田真平「鎌倉府・古河公方奉行衆の動向と関東足利氏権力」『中世下野の権力と社会』岩田書院

大石泰史「養珠院お萬の方（一五七七?―一六五三）―紀州・水戸徳川家初代の生母となった正木氏の娘―」『千葉史学』

五四号

大木 衛「銚子市内の中近世遺跡調査」『続銚子の歴史と伝説』秀英社

岡田晃司「里見忠義（一五九四―一六二二）―戦国房総の終焉―」『千葉史学』五四号

小高春雄「中・近世のおゆみ野」『研究連絡誌』七〇号

金子恭子「里見家の女性たち―足利義明の娘青岳尼と足利晴氏の娘―」『千葉史学』五四号

川名 登「幕府代官・行方隼人について」『利根川文化研究』三三三、後に『戦国近世変革期の研究―房総の武家文書と

検地帳から―』に再録

木下 聡「中世後期における武家と受領官途―在地効果説をめぐって―」『日本歴史』七三〇号

「結城合戦前後の扇谷上杉氏―新出史料の紹介と検討を通じて―」『千葉史学』五五号

木村 修「大栄地区の中世地名」『成田市史研究』三三三三

桐村久美子「房総の熊野信仰をめぐる展望と課題」『袖ヶ浦市史

研究』一四号

久保尚文「越中新川郡守護代家椎名氏と禪宗寺院―越後守護代長尾家とのかかわりを通じて―」『禪と地域社会』吉川弘文館

黒田基樹「在地徳政における諸慣行」『駿河台法学』四二号、後に『戦国期の債務と徳政』に再録

今野慶信「得宗被官工藤氏の基礎的考察」『鎌倉』一〇七号

笹生 衛「東国熊野社領の景観―「長寛勘文」と千葉県内の事例から―」『袖ヶ浦市史研究』一四号

阪田正一「関東における題目板碑の諸相」『立正史学』一〇六号

佐藤博信「安房妙本寺日我と日向法難―特に日我書状から―」『興風』二二号

「安房妙本寺日我と法華問答―「宗論」をめぐる―」

『鎌倉』一〇八号

「小弓公方足利義明（?）（一五三八）―房総を舞台に活躍した関東足利氏の一族―」『千葉史学』五四号

「古河公方足利成氏の佐倉移座・古河帰座に関する一考察―白河結城・下総結城・下野小山諸氏との関係―」『千葉県史研究』一七号

「里見忠義署判の発給文書の初見について」『戦国史研究』五七号

「戦国期の関東足利氏に関する考察―特に小弓・喜連川

氏を中心として―」『中世下野の権力と社会』岩田書院

「日我（一五〇八―一五八六）―戦乱に生きた日蓮僧の生涯―」『千葉史学』五四号

「豊前氏と下総千葉氏―特に鷹・隼の贈答をめぐる―」『千葉いまむかし』二二二号

「松本問答」と茂原の藻原寺」『日本歴史』七三〇号

「上総藻原寺檀那松本久右衛門家所蔵史料について―曼荼羅本尊を中心に―」『日蓮仏教研究』三号

菅原関道「中山法華経寺蔵『識分法門一念三千即離事』の一考察（上）」『日蓮仏教研究』三号

鈴木哲雄「大禰宜長房（一三三〇?―一四〇二?）―香取社寺領の興行と大禰宜家の確立―」『千葉史学』五四号

滝川恒昭「交流を仲介する海「江戸湾」と海晏寺の雲版」『品川歴史館紀要』二四号

「源頼朝の再起と安房国安西氏・洲崎神社」『千葉県史研究』一七号

高森良昌「飯沼城（館）跡」『続銚子の歴史と伝説』秀英社

田嶋昌治「小金城主高城氏関連の三つの史料を考える」『松戸史談』四九号

谷口 榮「葛西城と古河公方足利義氏」『東京都江戸東京博物館研究報告』一五号

千葉文隆「千葉次郎泰胤―越前大野島田城考―」『房総の郷土史』

三七号

津田芳男「茂原市神田山第Ⅲ遺跡の再検討―出土遺物の分類集計

結果をもとに―」『房総中近世考古』三号

遠山成一「上総鹿見塚考」『千葉史学』五五号

外山信司「金沢文庫文書」にみえる伊能・堀籠」『成田市史研究』

三三三号

「千葉常胤（一一一八―一二〇二）―頼朝の挙兵に賭けて繁栄を導く―」『千葉史学』五四号

永井 晋「中世東国の律院の茶―称名寺とその寺領・末寺を通じてみた鎌倉の茶―」『鎌倉』一〇七号

中野光将「中世後期の都市の墓地―東国の事例を中心に―」『立

正史学』一〇六号

則竹雄一「戦国大名北条氏の着到帳と軍隊構成」『獨協中学校・

高等学校研究紀要』二三三三

橋本直子「利根川中流域における河川変遷の再検討―一六世紀後

半から一七世紀前半を中心に―」『地方史研究』三三八

号

塙 富造「海上八幡宮略記」『続銚子の歴史と伝説』秀英社

濱名徳順「袖ヶ浦市善福寺の阿弥陀如来三尊像について」『袖ヶ

浦市史研究』一四号

早川正司「至徳銘宝筐印塔図像板碑の調査」『房総石造文化研究

会会報』一〇三三

道上 文「地下式坑から出土する炭化穀類について」『中世の地

下室』高志書院

道澤 明「房総東部栗山川流域の中世世界―横芝光町の遺跡・集

落等の検討から―」『房総中近世考古』三三三

「横芝光町篠本城跡の地下式坑を掘って」『中世の地下室』高志書院

築瀬裕一「全面調査された二つの城跡の出土遺物について―芝山町田向城跡と四街道市和良比堀込城跡―」『房総中近世

考古』三三三

「千葉県の内耳土器・土器播鉢・鉄鍋集成」『房総中近世考古』三三三

「地下式坑に葬るということ」『中世の地下室』高志書

院

「貯蔵施設としての地下式坑」『中世の地下室』高志書院

「房総の中世墓」『日本の中世墓』高志書院

湯浅治久「海上の道」と中世の房総社会―熊野神社・熊野信仰をもたらししたもの―」『袖ヶ浦市史研究』一四四

「日蓮宗と中世社会についての断章―「中間団体」・「社会的権力」・「戦国仏教」―」『興風』二二二

「室町期における香取社大禰宜家の一動向―応永―嘉吉の一族相論を手がかりに―」『千葉県史研究』一七七

横田光雄「戦国期の小見川と種徳寺―宗教と経済活動分離の側面―」『千葉史学』五五号

和氣俊行「足利政氏書札礼」の歴史的性格をめぐって『中世下

野の権力と社会』岩田書院

【二〇一〇年】

天野忠幸「三好氏と戦国期の法華宗教団―永祿の規約をめぐって

―」『市大日本史』一三三号

石渡洋平「戦国期香取社と地域権力―特に国分氏を中心に―」『駒

澤大学大学院史学論集』四〇号

井上哲朗「房総における中世竪穴建物について」『房総の考古学

史館終刊記念』六一書房

植田真平「南北朝後期鎌倉府の関東支配体制と公方直臣―「薩埵

山体制」の特質とその展開過程―」『日本歴史』七五〇号

植野英夫「房総半島中央部に伝わる浄土真宗史料―光明本二十体

御影の紹介をかねて―」『親鸞の水脈』七号

小高春雄「旭市東漸寺の伝木曾氏石塔について」『房総の石仏』

二〇号

川戸 彰「釈迦所刻板碑を考える」『房総の石仏』二〇号

川名 登「里見家臣団組織の成立」『千葉史学』五六号、後に『戦

国近世変革期の研究―房総の武家文書と検地帳から―』

に再録

木村 修「浄慶作の仏像をめぐって」『成田市史研究』三四号

黒田基樹「真里谷武田信嗣をめぐる婚姻関係」『戦国遺文房総編

第一巻月報1』

「千葉氏の本佐倉城移転とその背景」『風媒花』三四号

小西規子「香取市・惣持院の板碑群について」『房総の石仏』二

〇号

「正元元年と正嘉二年の板碑について」『房総石造文化

財研究会報』一〇五号

佐藤博信「安房妙本寺日我と「立正安国論私見聞」」『日本歴史』

七四七号

「安房妙本寺と和泉堺本伝寺―新出史料の検討―」『日

蓮仏教研究』四号

「安房妙本寺学頭坊歴代考―日朝から日成まで―」『興

風』二二二号

「下総篠塚の陣に関する一史料」『戦国史研究』五九号

「『玉縄北条氏関係史料集』のこと―後北条氏研究の深

化のために―」『鎌倉』一一〇号

「戦国期佐倉千葉氏の発給文書の一様態―特に年月日の

位置をめぐって―」『千葉いまむかし』二三号

「戦国期東国諸氏の元服時期について」『戦国遺文房総

編第一巻月報1』

「黄梅院文書目録」にみる上総所領について―佐貫柿

谷名をめぐって―『南北朝遺文関東編第四卷月報4』

末本文美士「鎌倉仏教と日蓮の思想」『法華仏教研究』六号

鈴木哲雄「香取本「大江山絵詞」の伝来と北総地域」『地方史研究』三四六号

谷口 榮「出土板碑の一視点―造立の「場」と「時」を失った葛

西域出土の板碑―」『月刊考古学ジャーナル』六〇二号

外山信司「大須賀氏の日蓮宗信仰」『成田市史研究』三四号

「香取の海」を基盤とした中世の権力と文化」『地方史研究』三四七号

野口 実「東国出身僧の在京活動と入宋・渡元―武士論の視点から―」『鎌倉遺文研究』二五号

橋本素子「下河辺庄における喫茶文化」『金澤文庫研究』三三四号

菱沼一憲「下総国印東庄の領主と百姓・沙汰人」『佐倉市史研究』二三号

藤木久志「関東公方領のアジール性」『日本歴史』七四三号

宮内教男「上総井田氏「井田文書」」『日本歴史』七四七号

湯浅治久「北総荘園の変容と印西内外十六郷の成立―房総中世村落論の一課題―」『地方史研究』三四六号

「史料紹介」

鈴木哲雄「色川三中旧蔵「香取諸家所蔵古升図」について」『千葉

県史研究』一〇号、二〇〇二年、後に『香取文書と中

世の東国』に再録

佐藤博信「安房妙本寺本「當門流前後案内置文」」『千葉大学人文研究』三二二号、二〇〇三年

「安房国古文書摘要」(一)『千葉県史研究』一一号、二〇〇三年

外山信司「日蓮真筆感得記(本土寺文書)―弥富原氏の新資料―」『佐倉市史研究』一六号、二〇〇三年

松田富美子「宝金剛寺の五輪塔について」『佐倉市史研究』一六号、二〇〇三年

小高春雄「天正十年銘の一石宝篋印塔について」『佐倉市史研究』一七号、二〇〇四年

佐藤博信・滝川恒昭「安房石堂寺の中世資料について―多宝塔銘文を中心として―」『千葉大学人文研究』三四号、二〇〇五年

黒田基樹「小田原北条氏文書補遺」『小田原市郷土文化館研究報告』四二二号、二〇〇六年

佐藤博信「正蓮百ヶ日忌日我談」『千葉県史研究』一四号、二〇〇六年

「安房妙本寺所蔵「年中行事略帳」」『千葉大学人文研究』

三五号

二〇一〇年

村上 卓「千葉県佐原市光福寺所蔵常滑焼大甕」『立正史学』九

九号、二〇〇六年

岡田晃司「安房那古寺宥怡条書案と里見氏」『千葉史学』五〇号、

二〇〇七年

佐藤博信「安房妙本寺所蔵「宗祖一期略記 日我御記」」『千葉大

学大学院人文社会科学研究所』一五号、二〇〇七年

鈴木哲雄「香取神宮神幸祭絵巻（権檢非違使家本）について」『千

葉県史研究』一五号、二〇〇七年、後に『香取文書と中

世の東国』に再録

佐藤博信「安房妙本寺所蔵「富山一流草案」」『千葉大学大学院人

文社会科学研究所』一六号、二〇〇八年

「上総藻原寺所蔵「仏像伽藍記」」『千葉大学大学院人文

社会科学研究所』一七号、二〇〇八年

秋山一雄「貞応3年銘千葉県木更津市某寺蔵木造聖観音菩薩立像

について」『袖ヶ浦市史研究』一四号、二〇〇九年

佐藤博信・坂井法暉「安房妙本寺蔵「日要上人於禁裏御法門十五

ヶ条」」『千葉大学大学院人文社会科学研究所』一九号、二

〇〇九年

黒田基樹「上杉顕定文書集」『駿河台大学論叢』四〇号、二〇一

〇年

「上杉憲房・憲寛文書集」『駿河台大学論叢』四一号、